



# CARRÉ BLANC

UN FILM DE JEAN-BAPTISTE LEONETTI

自ら袋に入る者に  
生きてる価値はない。

2011年  
フランス映画批評家協会賞受賞  
[ジャン=バティスト・レオネッティ]

 **カレ・ブラン**

《社畜》と《家畜》の「すばらしい新世界」を映す、非情と絶望の近未来ディストピアSF。

□2011年トロント国際映画祭 □シッチェス映画祭 □イマジン・アムステルダム・ファンタスティック映画祭 正式出品作品

AVEC SAMI BOUAJILA JULIE GAYET JEAN PIERRE ANDREANI FEJRIA DELIBA VALERIE BOBSON CARLOS LEAL DOMINIQUE PATUREL ADELE EXARCHOPOULOS ET MAJID HIVES

MUSIQUE ORIGINALE EVGUENI GALPERINE IMAGE DAVID NISSEN DIRECTION ARTISTIQUE MARIE PIERRE DURAND DECOR NOELLE VAN PARIKS SON EDGAR VIDAL ALAIN SIRONVAL GABRIEL HAFNER 1ER ASSISTANT REALISATEUR FREDDY VERHOEVEN

CASTING CONSTANCE DEMONTOY ECRIT ET REALISE PAR JEAN-BAPTISTE LEONETTI UNE COPRODUCTION SOLAIR FILMS TARANTULA PRODUCTRICE EXECUTIVE CAMILLE HAVARD BOURDON

COPRODUIT PAR DONATO ROTUNNO JOSEPH ROUSCHOP XAVIER RUIZ ALEXANDER RODNYANSKY PRODUIT PAR BENJAMIN MAMOU JEAN-BAPTISTE LEONETTI



# 『THX1138』『時計じかけのオレンジ』の遺伝子を受け継いだ、近未来暗黒譚。

## ■かいせつ:

近未来。権威によって思考・感情が統制された超・管理社会。人類は「社畜」と「家畜」に大別されている。権威に忠実な「社畜」は、日々弱者判別テストを「家畜」たちに施し、不合格者たちは人肉加工場でミンチにされ、「社畜」たちの食卓に供されている。この不条理に耐えられない「気づいた者」たちは、現実から逃れるため自ら命を絶つ。高層住宅には自殺防護ネットが張られ、出産奨励、人工精液注入のプロパガンダ放送が流れている。

全体主義、階級社会、不条理、虚無、自殺、暴力、人肉食、クローケー、白熊ー。『カレ・ブラン』は、『THX1138』『時計じかけのオレンジ』『ソイレント・グリーン』といった70年代ディストピアSFの遺伝子を受け継いだ欧州製近未来SF。本作が長編デビューとなる新鋭ジャン＝バティスト・レオネッティ監督が冷徹なカメラ・アイで切り取った、現代と地続きの未来社会、その非情と絶望のヴィジョンは、権威

主義の裏に潜む真の「生物学的弱者」をあぶり出す。

本国フランスでは、流血もセックスも薬物も描かれなにもかかわらず、「精神的暴力の提示」を理由に数館しか上映されていない。

## ■あらすじ:

弱者が生きる余地なき社会。母親が自殺したフィリップは、孤児だけが集められた教室で同じ年頃のマリイと出会い、共に思想教育を受ける。成人した2人はやがて夫婦となり、フィリップは、「家畜」たちに理不尽な能力テストを強いる、組織のエグゼクティブ「社畜」として何不自由ない生活を送っていた。しかし通い合っていたはずの2人の心はいつしか冷え切り、結婚生活は破綻しかけていた。そして夫婦関係の修復を願うフィリップの脳裏に、はるか昔、母親から聞かされた野生の白熊親子の残酷譚がよぎった…。



■『カレ・ブラン』とは: 白い四角形の意。7つの正方形を人型に組み合わせたロゴが貼られた食品は、人肉加工食品を意味する。

2011年フランス映画批評家協会賞受賞 [ジャン＝バティスト・レオネッティ] | 2011年ストックホルム国際映画祭最優秀作品賞 ノミネート  
 2011年トロント国際映画祭 | 2011年シッチェス映画祭 | 2011年オースティン映画祭 | 2012年ブリュッセル国際ファンタスティック映画祭 | 2012年ファンタジア映画祭  
 2012年タイタニック映画祭 | 2012年ロンドンSF映画祭 | 2012年イーストエンド映画祭 | 2012年イマジン・アムステルダム・ファンタスティック映画祭 正式出品作品



〈キャスト〉サミ・ブアジラ (「スズメバチ」「ストーン・カウンスル」) | ジュリー・ガイエ (「メトロで愛して」「はくの大切なともだち」) | ジャン＝ピエール・アンドレアーニ | カルロス・リール  
 〈スタッフ〉監督・脚本・製作: ジャン＝バティスト・レオネッティ | 撮影: デヴィッド・ニッセン | 音響: エドガー・ヴィダル | 音楽: エヴェゲニ・ガルベリン

2011年 | フランス＝ルクセンブルグ＝スイス＝ベルギー＝ロシア合作 | カラー | ヴィスタサイズ | ドルビーSRD | デジタル上映 | 上映時間: 1時間20分 | 字幕翻訳: 桜庭理絵  
 配給: キングレコード+ピースインターナショナル 宣伝: ピースインターナショナル © Solair films-Tarantula-CJSC CTC Network-Tous droits réservés



【facebook】 <http://www.facebook.com/CARREBLANCJJP> 【twitter】 @carreblancking

【オフィシャルサイト】 [www.carreblanc-jp.com](http://www.carreblanc-jp.com)

警告 本作品には肉体的および精神的暴力描写が含まれております。未成年の方のご鑑賞はご遠慮下さい。

## 3月下旬、〈大丈夫なのか?〉ロードショー

特別鑑賞券発売中! (1,500円)

★劇場窓口にてご購入の方に先着で『カレ・ブラン』ミンチステッカーをプレゼント / 劇中に登場する家畜の人肉加工食品マークを忠実に再現 /

※数に限りがあります。



【シアター】  
**イメージフォーラム**

【自由席・整理券制・定員入替制】

TEL.03-5766-0114 [www.imageforum.co.jp](http://www.imageforum.co.jp)

渋谷駅より徒歩8分 宮益坂上がり、次の信号スターバックスコーヒー右手入る

【シアターイメージフォーラム会員割引の二案内】年会費2,000円で1年間どの映画も1,000円で観られる1年延長の更新料は、1,000円。\*窓口にて申込頂きます。

